

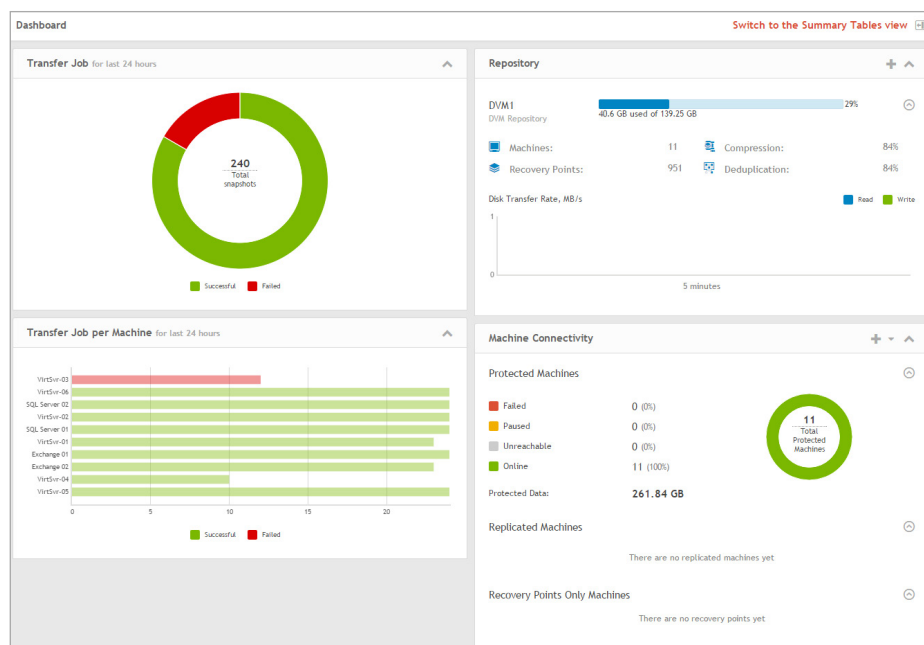
Rapid Recovery

保護対象とリカバリ先を選ばないZeroIMPACTリカバリ

ユーザがアプリケーションを最大限利用できる環境を提供し、さらにバックアップとリカバリをシンプルにしましょう。現代のビジネスは、物理、仮想、クラウドなどの環境でさまざまなシステムやアプリケーションを利用し、厳しいSLA要件に対応する必要に迫られています。もし、基幹となるビジネスシステムが故障してしまったら、さまざまなソリューションをまとめたり、複雑なオプションを検討したりするような時間の余裕はありません。ユーザに一切影響を与えることなく、あらゆる場所に置かれているすべての要素を保護し、業務を円滑に進めることができる、シンプルかつ柔軟な単一のソリューションが求められているのです。

Rapid Recoveryを使うと、場所（物理、仮想、クラウド環境）や対象（システム、アプリケーション、データ）を選ばず、すべてを保護することができます。迅速かつ簡単にリカバリでき、復元は不要です。複数のサイトにわたる環境全体の監視と管理も、クラウドベースの管理コンソールひとつで行うことができます。Quest® Rapid Recoveryは、信頼性に優れ、管理者にとって使いやすいソリューションです。ソフトウェアとしても、拡張可能なアプライアンスのフォームファクタとしても導入でき、必要な機能がすべて揃っています。

Rapid Recoveryは次のような特長を備えています。



このダッシュボードにより、データ保護の状況を詳細に把握できます。ドラッグ・アンド・ドロップでカスタマイズでき、リンクをクリックするとアクションアイテムに移動できます。

「ポイント・アンド・クリック式で復元ができるなら、これ以上に優れた方法はないでしょう」

Catasys, Inc., システム管理者、Charles Turcich氏

出典: TechValidate

メリット:

- 場所（物理、仮想、クラウド環境）や対象（システム、アプリケーション、データ）を選ばず、すべてを保護できます。
- 複数のサイトにわたるバックアップを、クラウドベースの単一コンソールから統合管理できます。
- 復元作業なしに実行でき、ユーザへの影響もありません。
- 15分未満で、迅速かつ簡単にリカバリできます。
- 拡大し続ける仮想環境を自動的に保護します。
- ストレージの必要量を低減しコストを削減します。

Rapid Recoveryは、あらゆるニーズに対処するシンプルな単一のソリューションです。新たな機能が必要になっても、各ベンダーに問い合わせる必要はなく、追加コストも発生しません。

- **アプリケーションとデータを含むシステム全体のリカバリ** — TB規模のデータでも15分以内にリカバリ可能です。
- **ユーザへの影響はゼロ** — 復元中もまるで障害など発生していないかのように、必要なデータを即座に提供します。
- **物理、仮想、クラウドのいかなる環境においても、システム、アプリケーション、およびデータの可用性を保証します。**
- **拡張し続ける仮想環境を自動的に保護** します。
- **すべての主要なパブリッククラウドへシンプルかつ簡単に接続** できます。
- **エージェントベースとエージェントレスのバックアップの両方が1つのソリューションに組み込まれており、お客様のニーズに合わせたデータ保護が実現** します。
- **低コスト** — すべての機能を単一のソリューションで提供します。
- **データ保護の管理と設定を数回のクリックだけで実行可能** — シンプルなプロセスと、使いやすい包括的な単一の管理インターフェイスを備えています。

Rapid Recoveryは、あらゆるニーズに対処するシンプルな単一のソリューションです。新たな機能が必要になっても、各ベンダーに問い合わせる必要はなく、追加コストも発生しません。複数のソリューションを使い分ける必要がなくなり、複数のインターフェイスの操作方法を覚える手間も省けます。

特長

- **クラウドのアーカイブ** — Microsoft Azure、Amazon S3およびGlacier、Rackspace、Google、または任意のOpenStackプロバイダに、静的データをアーカイブできます。シンプルなペア・メタル・リストアおよびファイルレベルのリストア用アーカイブを直接マウントできるので、リカバリの選択肢が広がります。
- **Rapid Snap for Applications** — 永続増分スナップショットを使用してアプリケーション全体および関連部分の状態をキャプチャすることにより（最短5分間隔）、ゼロに近いRTOとアグレッシブなRPOを達成でき、アプリケーションおよびシステムの完全なリカバリを実現できます。異なるアプリケーション（Microsoft Exchange、SQL、およびOracle 12c）でも一貫した保護を実現します。
- **Rapid Snap for Virtual** — アプリケーションやユーザの操作を中断しなくてもVMware VMやHyper-V VMを保護でき、拡張する仮想環境を簡単かつスケーラブルに保護することが可能です。VMで実行されているMicrosoft ExchangeおよびSQLに対し、エージェントレスな保護を実現します。

- **Live Recovery** — 分単位でRTOを設定して、ほぼ即座に操作を復元できます。
- **Verified Recovery** — バックアップのリカバリテストと検証を自動的に実行し、バックアップするファイルシステムやMicrosoft Exchange/SQL Serverインスタンスを確実に復元できるようにします。
- **Universal Recovery** — 単一のファイル、メッセージ、データオブジェクトから、物理マシンや仮想マシン全体、さらには異種ハードウェアまで、あらゆるレベルで復元を行えます。
- **Virtual Standby** — 仮想マシンに更新を継続的に送信し、プライマリマシンで問題が発生した場合には、この仮想マシンを起動することができます。
- **Easy DRaaS in Azure** — 新機能です。お使いのAzureアカウントで、仮想スタンバイマシンをわずか数クリックで作成可能。信頼性に優れたサービスとしてのディザスタリカバリを簡単に実現できます。
- **レプリケーション** — 1つ、または複数のターゲットとなるRapid Recovery Coreに対し、それがオンプレミス、リモート、またはパブリックプライベートクラウド内のどこにあっても、バックアップのレプリケーションを容易に、さまざまな設定で行えます。
- **圧縮と重複除外** — 統合したインライン固定ブロック重複除外とビルトインの最適化圧縮を使用することで、必要なストレージ容量を、最大で保護対象データのサイズの90%削減できます。
- **ファイル検索および復元ウィザード** — 保護対象マシンのリカバリポイントを調べ、ファイルを個別に検索し、検索結果からRapid Recovery Coreへ直接復元できます。
- **変更されたブロックの追跡** — ブロックレベルで変更を追跡し、変更されたデータだけをバックアップすることで、最適なパフォーマンスを維持します。
- **Quest QorePortal™** — 複数のRapid Recovery Coreやサイトの一元管理、レポート作成、およびダッシュボード表示を行えます。Questがホストする管理コンソールにより、時間や場所を問わずバックアップ管理が可能になります。
- **FIPS認定** — 政府のデータセキュリティ要件に合致。Rapid Recovery Crypto Moduleは、140-2レベル1認定を取得しています。
- **包括的なソフトウェア** — レプリケーションやVirtual Standbyなど、高度な機能がすべて含まれており、追加購入が不要なためコスト削減効果に優れています。
- **VMのみのライセンス** — 低コストの階層化ライセンスをオンプレミスとクラウド仮想環境に利用できます。

COREおよびCENTRAL

MANAGEMENT CONSOLEの要件

オペレーティングシステム

Rapid Recovery CoreおよびCentral Management Consoleを使用するには、以下のいずれかの64ビット版Windowsオペレーティングシステムが必要です。32ビット版WindowsシステムおよびLinuxディストリビューション上では動作しません。

Microsoft Windows 8.1*/10

Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1/2012/2012 R2*/2016 (Coreエディションは除く)

注意: WindowsオペレーティングシステムでRapid Recovery Coreサービスを実行するには、.NET Framework 4.5.2をインストールする必要があります。

メモリ

8 GB以上のRAM

プロセッサ

クアッドコア以上

ストレージ

Direct Attached Storage、ストレージ・エリア・ネットワーク、またはネットワーク接続ストレージ

ネットワーク

1ギガビットイーサネット (GbE) 以上

AGENTソフトウェアの要件

オペレーティングシステム

Rapid Recovery Agentソフトウェアでは、以下に挙げる32ビット/64ビットのWindowsおよびLinuxオペレーティングシステムをサポートしています。

Microsoft Windows 8.1/10

Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 (Windows Server 2008 Coreを除くすべてのエディション)

Microsoft Windows Server 2012/2012 R2*/2016

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.3/6.4/6.5/6.6/6.7/6.10/7.0/7.1/7.2/7.3*/7.4**/7.6**

CentOS Linux 6.3/6.4/6.5/6.6/6.7/6.10/7.0/7.1/7.2/7.3/7.4/7.6

Oracle Linux 6.3/6.4/6.5/6.6/6.7/6.10/7.0/7.1/7.2/7.3/7.4/7.6

Debian Linux 7/8/9

Ubuntu Linux 12.04 LTS/12.10/13.04/13.10/14.04/14.10/LTS/15.04/15.10/16.04 LTS/16.10/17.04***/19.04***

SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 (SP2以降) /12****

注意: WindowsオペレーティングシステムでRapid Recovery Agentサービスを実行するには、Microsoft .NET Framework 4.5.2をインストールする必要があります。

注意: VMware ESXi環境には、Questがサポートしていない一部のオペレーティングシステムとの互換性があります。この環境のVMを保護対象に追加することもできますが、Questではこのリストに記載されたオペレーティングシステムのみをサポート対象とします。他のオペレーティングシステムを実行するマシンの保護は、お客様ご自身の責任で行ってください。

ハイパーバイザのサポート (エクスポートおよびVIRTUAL STANDBY)

VMware: Workstation 7.0/8.0/9.0/10/11/12

vSphere ESXi 5.5/6.0/6.5

Microsoft Hyper-V: Microsoft Windows 8/8.1/10、Microsoft Server 2008 SP2/2008 R2 SP1/2012/2012 R2/2016

Oracle VirtualBox 5.1以降

詳細なリストについては、リリースノートを参照してください。

QUESTについて

Questは、急速に変化するエンタープライズITの世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの爆発、クラウドサービスへの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティ脅威、規制上の要件によって生じる課題のシンプル化を支援します。Questのポートフォリオは、データベース管理、データ保護、統合エンドポイントの管理、IDおよびアクセス管理、Microsoftプラットフォーム管理などのソリューションで構成されます。

* これらのオペレーティングシステムでは、ASP.NET 4.5xのロール/機能が必要です。Coreをインストールまたはアップグレードする際、インストールはCoreサーバのOSに基づいてこれらのコンポーネントを確認し、必要に応じて自動的にインストールまたはアクティブにします。

** バージョン7.3以降は、XFSファイルシステムでのみ利用可能です。

*** バージョン12.04 LTS/12.10/13.04/13.10/14.10/15.04/15.10についてはサービスが終了しており、テストも実施されません。そのため、サポートは制限されます。

****BTRFSは、カーネル3.7以降でサポートされます。